平成28年 第2回 石狩市下水道事業運営委員会

【追加資料】

- 第1回委員会資料の訂正
- 新電力の概要とその導入効果
- 下水道計画の見直しによる札幌市への処理負担金
- 特定環境保全公共下水道事業に係る収支及び個別排水処理施設整備事業に係る収支
- 石狩市公共下水道の使用料についての意見

平成28年4月28日

第1回石狩市下水道事業運営委員会 資料No.1の訂正

訂正前

2-12 使用料の改定率

(税抜き、単位：千円)

年度 区分	H28	H29	H30	H31	H32	着色部計
使用料収入		537,493	532,118	526,796	521,529	2,117,936
使用料 対象経費		570,761	550,737	562,089	540,227	
不足額	△27,221 未処理欠損金	△33,268	△18,619	△35,293	△18,698	△133,099

・平均改定率 = (H28～H32の不足額) / (H29～H32の使用料収入)

$$= 133,100 \text{千円} / 2,117,936 \text{千円} = 6.28\%$$

6.28%の値上げが必要

19

訂正後

2-12 使用料の改定率

(税抜き、単位：千円)

年度 区分	H28	H29	H30	H31	H32	着色部計
使用料収入		537,493	532,118	526,796	521,529	2,117,936
使用料 対象経費		570,761	550,737	562,089	540,227	
不足額	△27,222 未処理欠損金	△33,268	△18,619	△35,293	△18,698	△133,100

・平均改定率 = (H28～H32の不足額) / (H29～H32の使用料収入)

$$= 133,100 \text{千円} / 2,117,936 \text{千円} = 6.28\%$$

6.28%の値上げが必要

19

第1回石狩市下水道事業運営委員会 資料No.2の訂正

訂正前

2-7 維持管理費・資本費

(税抜き、単位：千円)

区分		年度	H25	H26	H27	H28
維持管理費			311,880	311,481	341,261	373,827
資本費	減価償却費		456,431	458,144	468,062	470,396
	企業債利子		245,094	229,920	222,123	204,190

区分		年度	H29	H30	H31	H32
維持管理費			388,582	372,206	384,325	363,635
資本費	減価償却費		474,516	476,689	483,274	488,404
	企業債利子		192,515	180,670	169,851	159,325

10

訂正後

2-7 維持管理費・資本費

(税抜き、単位：千円)

区分		年度	H25	H26	H27	H28
維持管理費			311,880	311,481	343,937	373,827
資本費	減価償却費		456,431	458,144	468,062	470,396
	企業債利子		245,094	229,920	222,123	204,190

区分		年度	H29	H30	H31	H32
維持管理費			388,582	372,206	384,325	363,635
資本費	減価償却費		474,516	476,689	483,274	488,404
	企業債利子		192,515	180,670	169,851	159,325

10

「新電力の概要とその導入効果」

●新電力(PPS)とは

既存の電力会社(北電)とは別の特定規模電気事業者
(Power Producer and Supplier)

既存の電力会社が有する電線路を通じて電力供給を行う事業者

●(株)エネットと契約(平成27年6月～平成29年3月)

- ・花川南中継ポンプ場
- ・樽川中継ポンプ場
- ・本町中継ポンプ場

(株)エネット＝NTTファシリティーズ・東京ガス・大阪ガスの3社で設立

●新電力導入効果(北電契約との比較)

基本料金	1%割引
契約期間(22ヶ月)	145千円減
1年当り	79千円減

「下水道計画の見直しによる札幌市への処理負担金」

茨戸水再生プラザに関する協定変更について(負担率軽減が大きい項目を抜粋)

※新負担率は平成25年度から施行

建設負担金(負担率)				維持管理負担金(負担率)			
項目	新	旧	備考	項目	新	旧	備考
二次処理施設・汚泥 処理施設・高度処理 施設・汚泥圧送施設 など	札幌市88.2% (計画水量69,410m ³ /日) 石狩市11.8% (計画水量9,290m ³ /日)	札幌市80% (計画水量100,000m ³ /日) 石狩市20% (計画水量25,000m ³ /日)	計画水量により 決定	修繕費(二次処理)	札幌市88.2% (計画水量69,410m ³ /日) 石狩市11.8% (計画水量9,290m ³ /日)	札幌市80% (計画水量100,000m ³ /日) 石狩市20% (計画水量25,000m ³ /日)	建設負担の 割合による

特定環境保全公共下水道事業に係る収支

(単位：千円)

	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2
収益的収入 A	58,683	67,383	67,730	85,259	76,154
料金収入	13,598	13,489	13,382	13,275	13,169
一般会計繰入金	12,409	12,661	10,534	9,959	9,442
" (料金改定分)	2,159	2,141	2,124	2,107	2,090
" (基金不足分)	0	0	0	0	51,373
その他	80	80	80	80	80
基金繰入金	30,437	39,012	41,610	59,838	0
収益的支出 B	58,614	66,363	66,586	80,114	66,938
職員給与費	9,839	9,880	9,921	9,962	10,003
支払利息	10,868	10,004	9,253	8,703	8,144
その他	37,907	46,479	47,412	61,449	48,791
収 支 C (A-B)	69	1,020	1,144	5,145	9,216
資本的収入 D	69,643	49,885	34,531	31,002	27,125
地方債	4,900	0	0	0	0
一般会計繰入金	64,703	49,845	34,491	30,962	27,085
その他	40	40	40	40	40
資本的支出 E	69,712	50,905	35,675	36,147	36,341
建設改良費	0	0	0	0	0
地方債償還金	69,712	50,905	35,675	36,147	36,341
その他	0	0	0	0	0
収 支 F (D-E)	△69	△1,020	△1,144	△5,145	△9,216
収支再差引 (C-F)	0	0	0	0	0

個別排水処理施設整備事業に係る収支

(単位：千円)

	H 2 8	H 2 9	H 3 0	H 3 1	H 3 2
収益的収入 A	25,190	25,536	26,170	26,894	27,826
料金収入	3,889	4,189	4,489	4,789	5,089
一般会計繰入金	11,715	12,017	12,410	12,622	12,925
" (料金改定分)	1,436	1,414	1,415	1,415	1,415
" (赤字補てん分)	459	837	1,076	1,439	1,714
" (基金不足分)	0	0	0	5,658	6,477
その他	237	206	206	206	206
基金繰入金	7,454	6,873	6,574	765	0
収益的支出 B	22,480	23,264	24,190	24,868	25,673
職員給与費	9,657	9,697	9,737	9,777	9,818
支払利息	2,731	3,114	3,642	3,921	4,324
その他	10,092	10,453	10,811	11,170	11,531
収 支 C (A-B)	2,710	2,272	1,980	2,026	2,153
資本的収入 D	39,067	36,270	35,607	35,719	36,033
地方債	29,100	27,500	27,500	27,500	27,500
一般会計繰入金	7,390	6,163	5,408	5,819	6,041
その他	2,577	2,607	2,699	2,400	2,492
資本的支出 E	41,777	38,542	37,587	37,745	38,186
建設改良費	32,400	30,600	30,600	30,600	30,600
地方債償還金	9,377	7,942	6,987	7,145	7,586
その他	0	0	0	0	0
収 支 F (D-E)	△2,710	△2,272	△1,980	△2,026	△2,153
収支再差引 (C-F)	0	0	0	0	0

石狩市公共下水道の使用料についての意見

石狩市下水道事業運営委員会
会長 船水 尚行 様

意見を述べさせていただきます。

下水道料金について、石狩市で使用料改定の原則に沿って、算出されたものですが、
6. 28%アップはあまりにも高率だと感じられます。
外部委託料金などを見直し、使用料アップを圧縮するような検討を望みます。

石狩市の人口減少は将来も予想されています。排水需要が減少して、下水道会計収支はもっとタイトになるでしょう。その都度に料金改定では、市民に負担を押し付けられると思われ
ます。

国勢調査速報値では、平成27年10月1日現在の石狩市人口は57,462人とありました。

この人数は下水道使用料算定資料にある平成30年の予測人口とほぼ同じです。

2-1 排水需要の予測（公共下水道）のデータは、見直しの必要があるのではないで
しょうか。

近年、廃棄物をエネルギーとして利用するバイオマス技術が開発されています。

石狩市は、下水を外部処理に頼るだけでなく、バイオマス技術での汚水処理に取り組む必
要があります。

処理するだけでなく有効利用することで、市民の理解が得られます。

石狩市は、環境と調和した持続的な社会の街づくりを目指す必要があります。

2016/03/31
委員 長 良幸